

# —アメリカと北朝鮮の「核の対立」に関する—

## —緊急宣言—

### 世界平和宣言

戦争と平和は、人類の歴史を推し進めてきた二大要素で、民族と国家は、戦争と平和の二大原因です。人類はこの百年の間に、数多くの戦争を繰り返して来ました。私たちは、二度の世界大戦で得た悲しくも貴重な教訓から、平和の大切さと戦争の芽の摘み取り方を学び、戦争を防止することで平和を構築して来ました。しかし、核兵器保有国となった大国は、「帝国主義」と「覇権思想」から、核兵器を独占し世界覇権を目論んでいます。また、核兵器を持たない小国は、大国の核兵器に怯え、自衛に走らざるを得なくなっています。さらには、世界各地で紛争が勃発し、難民問題が発生しているという現状もあります。私たちはこのように、これからの世代に禍根を残すばかりか、限りある地球資源や自然を破壊してしまったことで引き起こされた気候や生態の激変による影響を受けてしまっています。いま、私たち人類は、共存か、絶滅かの瀬戸際に立たされています。歴史は繰り返されます。過去、「武力」の文明が発展し尽くした後には、かならず、「心」の文明が発展してきました。私たちはいま、その転換の時を迎えています。未来は、グローバルな自由民である私たちの手に委ねられているのです。

私たち人類の祖先は、「エデンの園」で原罪を犯し、万国の民衆もまた「バベルの塔」が倒れた後は世界各地に散らばってしまいました。「失樂園」を見失った魂は、その後何度も「目には目を、歯には歯を」という悲劇を繰り返し、「人を殺したものは、人のために殺される」という神諭誠律のもと、愛国主義者は世界平和をその覇権戦争のための「いいわけ」としています。しかしこのような流れは、普遍的な価値観に違反し、また人としてあるべき正義と善良にも反したものです。私たちグローバルな自由民は、中国とインドの緊張が溶けた後のアメリカと北朝鮮の間の核戦争の危機に直面しています。「防衛を怠ると危険にさらされる」弱小小国は、自ら核兵器を所有することで自衛し、核の脅威から逃れようとしています。暴力に暴力で対抗するのは容易いことです。しかし、暴力によって暴力を押しえ込むことは困難なのです。「戦争を好むものは滅亡」します。大国、小国を問わず、世界が一丸となって、地球と人類の、共存か滅亡かのターニングポイントを乗り越え、地球全体の安定した平和を迎えることができるよう、私たちはここに、全世界の平和と地球を愛する自由民たちに対して、謹んで以下の共同宣言を声明文を示します：

- 一、 新興アジア勃発する可能性がある今回の戦争は、一旦発生してしまえば、それそのものは「局部」でのことだが、陸・海の覇権をめぐる中国とアメリカの間での第三次世界大戦をも引き起こす可能性があるものである。
- 二、 平和は人類が存続する上で無くてはならない基本的人権である。それはグローバル化が進んだ現在において、大国、小国を問わず、個人の所在地をも問わない人類の安全にとっては、更に重要なものである。また、生存権は人類の普遍的な価値である。私たちが中国・米を信頼し、それに対して囑望するものは、世界平和、正義の維持という崇高な期待と、真理に反しないことである。
- 三、 人は生まれながらにして平等である。強者が弱者を虐げることにはあってはならないし、また、天から授かったこの万物の生態を破壊することは許されないのである。大国、強国は人道的な立場から、公平で正義感のある態度で小国を助け、その人権と生存する権利を尊重し、私たちの地球の生態を共同で維持し、生命を育てていくべきである。
- 四、 グローバルな自由民である私たちは、いま、「二つの大きな力」の間に挟まれて身動きが取れなくなっている。また、世界を救うためのものだったパリサミットも初めの段階から重要な参加者を欠いてしまっている。アメリカと北朝鮮の核兵器による威嚇は、もはや人類滅亡の危機と言っていいほどにエスカレートしている。この「二つの大きな力」の対立が解消されないという現状を、「三つの大きな力」の対立という平和でバランスの取れた体制にすることで、人類と地球が直面している最大の危機を乗り越えることができる。
- 五、 運命共同体としての人類、風雨を共にしている地球、そして見渡す限りの荒野と溢れんばかりの難民たち、私達はもう、核兵器の拡散、血なまぐさい戦争、そして核兵器による人類と地球の汚染に耐えることはできない所まで来ている。終焉はもうすぐそこまで迫っている。
- 六、 グローバルな自由民による「民主議会」を創設し、大国主導の「国連」に協力することで、欧州石炭鉄鋼共同体のような立場から、ビッグデータとAIにより、核と戦争に係る原料の管理を行う。人類の恒久的な平和のための平和憲章を確立し、「大同世界(理想的な世界)」を現実化する。

共同発起人